

ほほえみ 第136号



北京オリンピックは、ジャッジの問題などにはありましたが、日本選手が活躍しました。応援していたカーリングも銀メダルを獲得しました。しかし、その後のロシアのウクライナ侵攻で世界情勢が大きく変わりました。日本政府は、後手の対応ですが、ロシアが西側諸国と敵対することは、当然、日本に安全保障上の問題が増幅しますし、中露と相対することとなるので、防衛力の増強は否応ない状況になるかと思えます。今の政権は財政健全化ばかりを優先しているようなので、対応ができるのか懸念がありますね。

ウクライナ侵攻

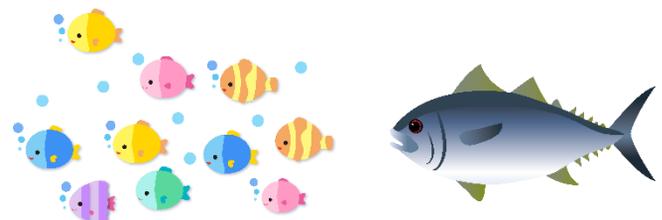
連日、ニュースはこの話題が中心です。この問題が、歴史の転換点になる可能性もあり目が離せません。強い者が弱い者を征服しても良いというのは、霸道と書けば字面は多少よくなりますが、褒められたものではありません。大きな魚が小さな魚を自由に貪り食うことのできる「魚の世界の正義」という言葉がありますが、人間らしさが感じられません。古典的サンスクリットでは、正義を意味する、ニーティとニヤーヤという二つの異なる言葉があるとされます。ニーティは組織の適切さと行動の正しさを、ニヤーヤは実現された正義の包括的概念を意味します。(アマルティア・セン著、『正義のアイデア』)。

ニヤーヤの視点から見れば、ロシアが目ざす結末によって、どのような正義が実現されるかが問われます。それは、ウクライナがロシアの属国となり、非武装化、中立地帯となった場合ですが、正義が満たされているようには見えません。この場合、ウクライナは、希望に反して、西側諸国とは潜在的に敵対する陣営に入ることを意味しますし、ロシア経済圏に取りこまれ経済的発展からは取り残され、その体制が維持される限り隷属状態になります。ロシアとして都合がよいのかもかもしれませんが、ウクライナから見れば、国家としてそのような未来を受け入れることは破滅的です。そのため、ウクライナ国民が必死に抵抗しているのは明らかです。

ニーティとして見ると、ロシアが組織として適切で正しい行動を行っていないことは明らかでしょう。ウクライナをネオナチと呼んで攻撃しているのですが、そもそも、先にクリミア侵攻したのはロシアです。クリミアはウクライナ領土だった訳なので、ウクライナが反発するのは必至ですし、国際紛争の原因を作っているのはロシアなのです。結局、どう見てもロシアに正義はないのですが、戦いは正義で勝てるものでもないのが歯がゆいですね。

ところで、今回のウクライナ侵攻では、ロシアは戦略上、大きなミスを行っています。数十キロにわたって、車列が連なっていると報道されていたのですが、道路上に軍の車両が一行に並ぶなんて、最低の展開形式と思われるかもしれません。このパターンは桶狭間の戦いでわかるように、大軍のメリットが生かされず、軍が分断される悪形と思われるかもしれません。今川軍と同じで、相手を軽んじているからこそ、この陣形になるのであって、ロシアがいかにウクライナを見くびっているかが表れていますが、この陣形のデメリットを突かれるリスクも生じる可能性があります。

車列が数十キロ並んで、しかもほとんど進軍できていないようなので、すでにウクライナ側が何らかの対抗をしているのかもしれない。「兵は詭道」とも言いますので、軍を進めた側にも詭道としての歴史の答えが待っているとも考えられます。



魚の世界の正義

新型コロナ治療薬、パキロビットに関して

新型コロナ肺炎の治療薬としてファイザー製薬が開発した薬剤です。マスコミの報道でも、この薬が開発されたことを、お聞きになった方は多いかと思えます。現在、本邦では特例承認薬剤となっていますが、数多くの薬剤で相互作用が認められていることと、腎機能低下の方には、かなり慎重な投与が求められている薬剤でもあります。

抗がん剤の相互作用は多くは有りませんが、消炎鎮痛剤、カフェインや、睡眠導入剤などとも相互作用することが知られているため、かなり投与に注意が必要な薬剤であることは確かでしょう。



ヒヨドリの巣を発見

つるばらの茂みの中に、ヒヨドリの巣があるのではないかと考えていたのですが、バラの葉が落ちてきたので、巣を実際に見ることができました。スズメの巣より小さい巣です。ヒヨドリは結構大きな鳥なので、鳥の大きさと巣の大きさは必ずしも比例しないことがわかります。それにしても、バラの枝の合間に、よく木の小枝などで上手に巣をつくるものですね。

ヒヨドリは、昨年の初夏の朝に賑やかに鳴いていたのですが、結局、雛に餌をやるような場面は見ることができず、巣も上手に隠されていたので、場所も特定できませんでした。すごく警戒心が強いのだと思います。今年も、巣を作ってくれると良いですね。



MEMO

3月のがん化学療法科の予定

3月1日	診療応援(佐々木先生)
3月3日	診療応援(谷口先生) ひな祭り
3月8日	診療応援(工藤先生)
3月10日	診療応援(谷口先生)
3月15日	診療応援(佐々木先生)
3月17日	診療応援(谷口先生)
3月21日	春分の日
3月22日	診療応援(工藤先生)
3月24日	診療応援(谷口先生)
3月29日	診療応援(佐々木先生)
3月31日	診療応援(谷口先生)

